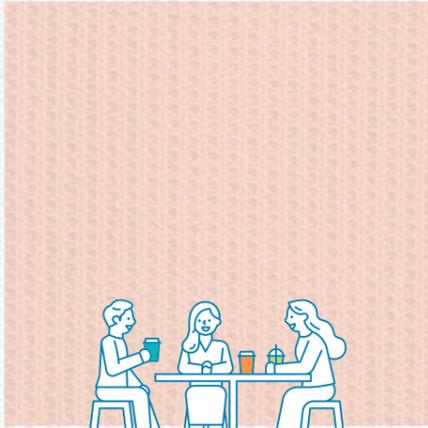


TAIYO
KAGAKU
REPORT
2021



UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



Imagine 人類の未来に向かっての熱い思い

素材の特徴を活かし
より高い価値へ変換する「研究開発型企业」

社員の4人に1人が
研究開発職



日本初の
3つの取り組み

- ①食品用乳化剤の開発
- ②食品用乳化安定剤製剤の開発
- ③鶏卵加工品の企業化

国内外で60件を
超える受賞歴



50件を超える
外部機関との
共同研究



世界に広がる
研究開発拠点



インド(オーランガバード)の研究室

水溶性食物繊維「サンファイバー」の生産工場であるTAIYO KAGAKU INDIA Pvt. Ltd. (インド)の研究室では、現地の研究員がサンファイバー、モリンガエキスをはじめとする原料の品質(有効成分の分析、栽培収穫方法指導、製法改良など)にこだわり、安全・安心な原料の確保に努めています。



TAIYO KAGAKU INDIA Pvt. Ltd.の研究室



Imagine, Desire
精神に基づく活動
ニーズに応える
ソリューション

and Createの
が課題を解決し、
「機能」を提供する
を生み出します。

Create 人々を感動させる価値の創造

食を扱う企業としての責任のもと
高付加価値なものづくりを推進



● 新たな価値を生み出す
コミュニケーション



おいしさ科学館

人の感覚を大切にしながら、機器分析と統計解析を用いて「食品のおいしさ」や「化粧品の使用感」をこれまでより一歩深めた次元で表現することに取り組んでいます。

● 安全・安心を担保するための施策

HACCPをベースにした
品質活動

- HACCPチーム
- 生産部署チームリーダー
 - 生産部署HACCP担当者
 - 開発担当者
 - 品質管理担当者
 - 各事業部統括の担当者

食品安全マネジメント
システム



国内工場: SQF
海外工場: FSSC22000

外部委託先分析機関による
品質確認



一般財団法人
「食品分析開発センター SUNATEC」



Desire 高い目標を実現する強い意志

食生活を多角的に支える3つの事業部と製品群

インターフェイス
ソリューション事業部
界面制御技術の応用開発



ナチュラル
イングリディエント事業部
加工食品素材の開発



ニュートリション事業部
機能性素材の開発



3つの事業部が多種多様な製品をラインナップし、
より豊かで安全・安心な食品加工を豊富な素材でサポートしています。

Contents

太陽化学の価値創造の歴史	3
くらしの中の太陽化学	5
Top Message	7
太陽化学のビジネスモデル	9
Topics	11
CSRマネジメント	13
地球のために	15
お取引先様とともに/お客様とともに	17
従業員とともに	19
地域社会とともに	21
コーポレート・ガバナンス	22
財務・非財務ハイライト	24
会社概要	25

■ 編集方針

太陽化学では、当社に関する情報開示や、当社のCSRに関する考え方及び取り組みについて、その全体像をすべてのステークホルダーの皆様に対し、より広くご理解いただくことを目指して、「太陽化学レポート」を発行しています。
本レポートでは、当社が事業活動を通じて社会や地球に対して果たしている役割や取り組みをご報告しています。

■ 報告対象期間

原則として2020年4月から2021年3月を対象期間としていますが、当該期間以前もしくは以後の活動も報告内容に含まれています。

■ 報告対象範囲

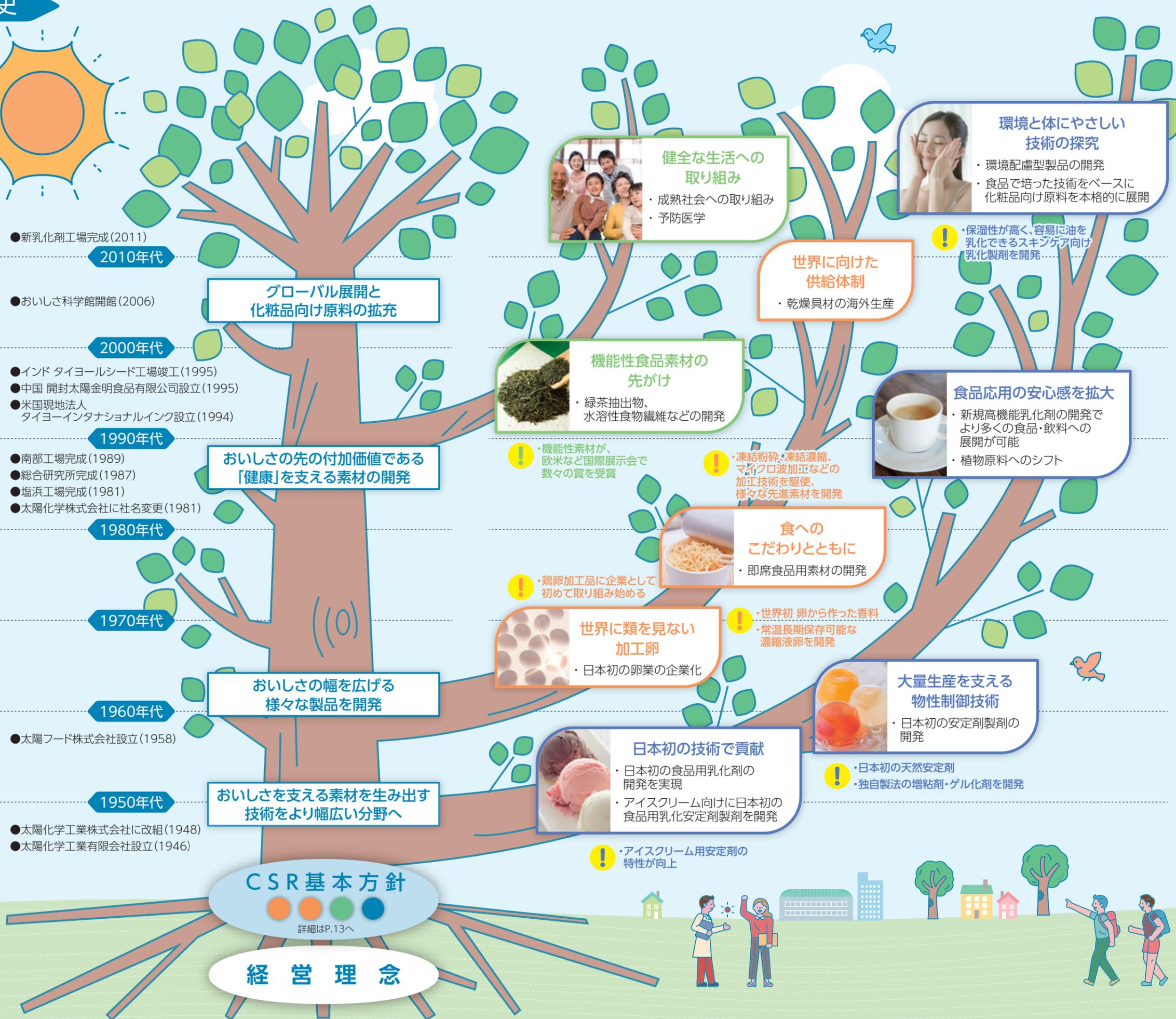
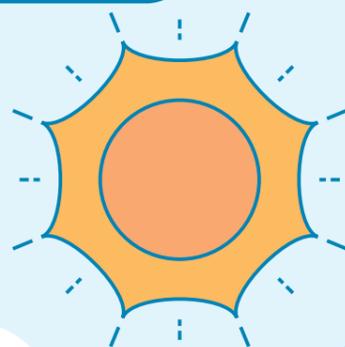
太陽化学を中心に一部グループ会社を含みます。

■ 次回報告書の発行予定

2022年5月を予定しています。

■ 参考にしたガイドライン

編集に当たり、社会的責任の国際規格「ISO26000」を参考にしました。



太陽化学は皆様の食に関わるあらゆる生活の化粧品やトイレタリー、家電の中まで、豊かな

すぐ近くから、暮らしを黒子のように支えています。

太陽化学株式会社
TAIYO KAGAKU

調達からマーケットへ



Focus!

消費者ニーズの収集
タイヨラボ・ショップ

2020年、(株)タイヨラボ初となる実店舗を東京本社(浜松町)1階にオープンいたしました。

タイヨラボ・ショップは信頼品質のサプリメント販売に加えて、日常で気になる体の状態を簡単・短時間で計測できる「健康セルフチェックコーナー」をそなえた体験型の店舗です。

日々の健康チェックや定期的に行われる健康イベントへの参加を通じて、「いきいきと豊かな生活のきっかけづくり」を提案してまいります。

- サプリメント販売
- 健康セルフチェック
糖化度 (AGEs ※老化指標) / ストレス度 / 血管年齢 / 脳活動度 / ヘモグロビン値 (貧血チェック) / 血圧 / 体組成 (内臓脂肪・筋肉量他)
- 健康イベント



1 元気な毎日に

健康食品、サプリメントに欠かせない機能性素材を、安全性と確かなエビデンスとともにお届けしています。
緑茶カテキン、テアニン、グアーガム分解物、ミネラル、カロテノイド

2 元気を取り戻す

流動食の物性コントロールや栄養素の供給、免疫の最前線でもある腸内環境の改善に貢献しています。
乳化剤、安定剤、グアーガム分解物

3 おいしさとお楽しさの演出

品質を安定させるだけでなく、商品価値を高めるようなテクスチャー、コンセプトを付与します。
乳化剤、安定剤、香料、機能性素材

4 出来立てのおいしさを

たまごやさつまいも等の素材に加え、出来立てのおいしさを保持・演出する当社製品は、嗜好性を高めるだけでなく、フードロスの低減にも寄与します。
乳化剤、安定剤、鶏卵加工品、さつまいも加工品、酸化防止剤

5 さっぱりメイク落とし

食品添加物の製造メーカーだからできる、肌への安全・安心と使用感に優れた化粧品原料を提供しています。
界面活性剤、機能性素材



6 抗菌

洗浄成分に加え、抗菌性を有する素材は皆様の身近なところで毎日の健康を支えています。
界面活性剤、緑茶カテキン

7 バイオマス度UP

バイオマス度を上げたり、プラスチック使用量削減のための物性改善に植物由来の界面活性剤が使用されています。
界面活性剤

8 鮮度長持ち

エチレンガスを分解することにより、野菜室の野菜鮮度が長持ちします。ご家庭でもフードロス、エコの実現に貢献します。
TMPS(メソポーラスシリカ)

9 手軽においしさを

普段の生活に欠かせないインスタント食品をいかにおいしくできるか様々な加工技術をもって素材を提供しています。
乾燥具材、麺用品質向上剤、食品用乳化剤/乳化製剤

10 工業品用途にも技術を

食品用乳化剤の技術を応用し、工業品・化成製品向けの素材を提供しています。
界面活性剤



技術を磨き続け、社会の変化に伴う新たな課題にチャレンジします。

長年にわたり積み上げてきた独自の技術力を携え、社会課題の解決につながる新しい価値の提供を目指

基本理念「好奇心 そして行動」に基づく事業展開により、

代表取締役社長

小崎 長宏

基本理念

好奇心 そして行動

Imagine, Desire and Create

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



独自の技術力に新たな要素を重ねて進化・革新を実現していく

太陽化学は、「太陽は日々に新しく」という言葉に込められた創業者の想いを受け継ぎ、「常に新しいものを創り出し、世の中に問い続ける」ことをミッション(存在意義)とする研究開発型企業です。

ミッション実現に向け、社員が業務を進める上での行動規範として基本理念「好奇心 そして行動(Imagine, Desire and Create)」を定め、一人ひとりが日々のあらゆる行動・言動について「どこにImagineがあるのか?」「Desireが掲げられているか?」「それは本当にCreateか、模倣ではないのか?」などと確認し、互いに議論しながら事業を展開しています。

当社の最大の強みは、「界面制御技術」をコアとして70余年にわたり積み上げてきた確かな技術力です。これまで蓄積した技術の上に新たな要素を重ねることで進化・革新を実現し、時代のニーズに応えるとともに強固な基盤を築いてきました。当社が誇る技術力は長年にわたる蓄積により初めて成立するものです。今後も研究開発の地道な取り組みにより技術を磨き続けることで、一層の強化を図っていきます。

時代のニーズに真摯に対応していくことがSDGsへの貢献にもつながる

解決が求められる社会的な重要課題はいつの時代にも存在し、しかも課題が解決され、ニーズが満たされた後の時代には、また新たな課題が現れます。当社は、大量生産による食品の安定供給が課題であった終戦後から、大量生産が当たり前となり差別化が求められるようになった高度経済成長期へと食品業界が変遷していく中、常に先駆けて提案を行い、業界の課題解決に貢献してきました。

いまは「健康志向」の時代ですが、当社グループは、いち早く「病気になるないように食品でコントロールする」健康機能性食材の研究に着手し、長年にわたり知見を蓄積してきました。さらに、より体に優しい原料を求める市場・領域の拡大に伴い、当社の技術は食品の枠を超え、化粧品や工業品の分野にも活用の幅を広げています。

現在、2030年までにSDGs(持続可能な開発目標)達成を目指す動きが世界各国で加速していますが、当社としては、従来通り事業を継続していく中で、結果としてSDGsへの貢献ができると考えています。

例えば、当社が開発・提案している新素材では、食品の

劣化を防ぐ高機能性酸化防止剤製剤「スーパーエマルジョンTSシリーズ」や野菜・果物の鮮度を保持する環境配慮型製品「太陽化学メソポーラスシリカ」が、まだ食べられる食品が廃棄される「食品ロス」の低減につながると期待されています。また、プラスチックによる海洋汚染に関して、当社の「チラバズール」は、分解されて自然界に残らない「生分解性プラスチック」の用途を大幅に拡大することからプラスチックゴミの削減を実現する素材として注目されています。これら製品の活用により、当社では、SDGsの17ゴールのうち、特に「12 つくる責任 つかう責任」「14 海の豊かさを守ろう」への貢献を目指しています。

地球環境にもたらすネガティブインパクトの最小化を目指して

太陽化学では、事業を通じて社会に与えるポジティブインパクトの最大化を図るとともに、その過程で生じる地球環境へのネガティブインパクトの最小化を目指しています。当社が立地する三重県四日市市は、高度経済成長期に産業都市として栄えた一方、大気汚染による公害が社会問題となりました。当時の状況を目の当たりにし

た経験から、単に経済的な豊かさの追求にとどまらず、地域の人々が健康に生活を営む環境づくりも企業が果たすべき社会的責任であると痛切に感じています。

今日、当社は環境保全対策を「事業活動を行うにあたっての重要な課題の一つ」としてとらえ、省エネなどCO₂排出量削減による地球温暖化対策に取り組むとともに、排水の水質管理、廃棄物の発生抑制及びリサイクル化など、あらゆる面で管理を徹底し、環境負荷の低減に努めています。

ステークホルダーの皆様へ

企業は、社会の役に立たなければ存在できません。太陽化学が今日まで存続し、成長したのは、社会の中で一定の責任・役割を担ってきたことで、その存在価値をステークホルダーの皆様にご認識いただけたから、と自負しています。

今後も社会の変化に伴って次々に生まれる新しい課題に積極的にチャレンジし、当社の存在価値を行動で示していく決意です。

ステークホルダーの皆様には、引き続きご支援のほど、よろしくごお願い申し上げます。

好奇心と強い想いにより生み出された安全・安心な品質で提供するために、もの

“価値”をづくりの技術を磨き続けます。

目指すもの
新たな高い付加価値を創造し続けることで、時代ごとに社会が求める課題の解決



生理効果の検証だけでなく、メカニズムの解明を含めた研究を学術機関と連動して実施し、市場のニーズからアイデアを見つけ、独自の製品を設計しています。



お客様との接点をより深く持ち、パートナーとなり得る戦略的営業活動を行うカスタマーリレーションセンターと、事業部戦略と営業戦略を掛け合わせた計画と推進を行うマーケティング部が一体となり、営業と提案活動を行っています。

食品、飲料、化粧品などのメーカー様へ提案ができる幅広い製品展開をしています。その生産実績が知見の源となり、さらに新たな分野の製品展開のきっかけになります。

ジョブローテーションにより多様な人材を育成しています。

安全・安心な製品を担保するため、抜け目のない品質システムを運営しています。

多種多様な製品を安定供給するため、無駄なく安定した生産技術を磨きます。

品質の確認に客観性を持たせるため、製品検査を外部独立機関の一般財団法人「食品分析開発センターSUNATEC」に委託して実施しています。

課題を解決し、ニーズに応える機能提供するソリューションを生み出します。

品質・機能面だけではなく環境への配慮や法令遵守の基準をクリアしたものを選抜し、適正価格で調達。

社会の課題

- プラスチック削減
- 健康ニーズ
- 少子高齢化
- フードロス
- 人手不足
- 自然資源の枯渇
- 気候変動・脱炭素化
- 水質汚染・水資源の枯渇
- 多様性と機会均等

創出される社会的価値

- 🍏 豊かな生活を彩る「食」の技術
- 🍏 フードロス削減
- 🍏 健康機能性素材で支える健康
- 🍏 快適な生活を支える「トイレタリー」の技術
- 🍏 省エネ・省資源化に向けた素材提供

課題解決のための事業基盤

<多様な顧客・関係基盤>

- 幅広い業界とのお取引
- 産学官の連携
- グローバルネットワーク



社会課題の認識

研究開発の重要テーマとしてのピックアップ



フードロス低減のために

食と健康に関わる太陽化学グループの事業は、CSRそのものです。ここでは、具体的なトピックについてご紹介します。

全世界では毎年40億トンもの食料が生産されており、本来は全世界の人口の食を賄う十分な量と考えられますが、先進国を中心として、世界全体で食品ロスを含む食品廃棄物の量は13億トンにものぼり、年間の生産量のうち約3分の1は廃棄されていることとなります。(出典:消費者庁「食品ロス削減関係参考資料」,2019)

賞味(消費)期限の設定は、理化学(栄養)、微生物(腐敗)、官能(おいしさ)の3点がポイントになります。これらを適切にケアすることは、食品が本来持つ栄養とおいしさを長期間維持することを実現すると同時に、限りある資源の有効活用につながります。



フードロスをめぐる現状

我が国のフードロスの状況



フードロス量は年間**646万トン**
(平成27年度推計)

≒ 国連世界食糧計画(WFP)による食糧援助量(約380万トン)の1.7倍

毎日大型(10トン)トラック**1,770台分**を廃棄

年間1人当たりのフードロス量は**51kg**

≒ 年間1人当たりの米の消費量(約54kg)に相当

微生物対策

抗菌性を有する素材を活かした取り組み

お茶に含まれるポリフェノール「カテキン」や乳化剤の持つ“抗菌”機能に注目・研究し、食品の経時的な腐敗や微生物汚染から食品を守る取り組みを進めています。



理化学、官能対策

酸化ダメージから食品を守る

「食」は人を良くすると書きます。食事により、ヒトは必要な栄養を補いますが、酸化によって減衰する栄養成分や風味の変化を抑制するために酸化防止素材が活用されます。太陽化学グループは酸化防止機能を有する素材の組み合わせにより、様々な飲食品のおいしさを守っています。



+αの価値づくり

出来立てのおいしさを維持する

味の演出に重要な影響を与える物性(テクスチャー)。太陽化学グループは水でも油でも物性を变化させる素材を有しています。その組み合わせと機能の最大化により、出来立てのおいしさを長時間演出します。

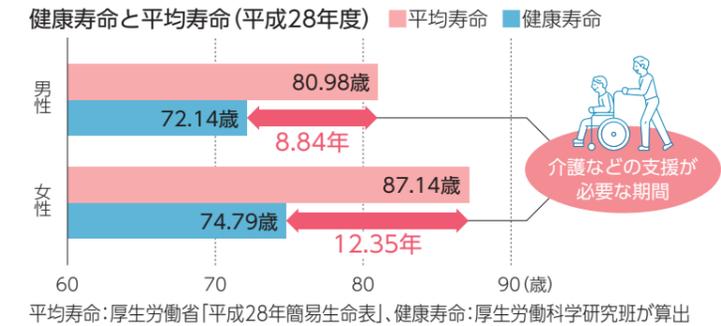


健康寿命、QOL向上のために

機能性素材の研究・開発を通じて、健康寿命の延伸に貢献します。2015年より開始された「機能性表示食品」制度にも積極的に対応しています。

世界的に高齢化が進む中で、平均寿命だけでなく、健康寿命の重要性が広く認識されるようになりました。

太陽化学グループは機能性表示食品の制度にも積極的に対応することで、介護が必要な期間を少なくし、誰もが健康でいきいきとした生活を続けられるよう、機能性素材の研究、開発を通じて貢献します。



『おむつゼロ』運動への取り組み

当社の水溶性食物繊維「サンファイバー」を使い『おむつゼロ』運動に取り組み、自立支援介護の知識や自然な排便コントロールの普及啓発活動を行っています。100床規模の特別養護老人ホームでの『おむつゼロ』運動では、実施後半年を待たずに『おむつゼロ』を実現しました。

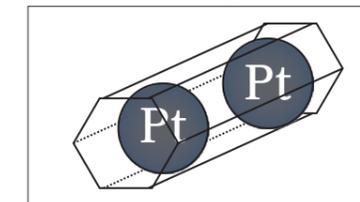
環境への取り組み

食品の鮮度保持にかかる素材、技術開発や食品製造時のエネルギー、資源ロスを低減することで環境への配慮を実現します。

太陽化学メソポーラスシリカ(TMPS)は、当社が持つ独自の界面制御技術を活用して創出した素材で、均一で規則的な細孔(メソ孔)を持つ二酸化ケイ素(シリカ)です。TMPSの細孔内にプラチナナノ粒子を担持させた触媒(TMPS-Pt)は、植物の老化を促進するエチレンを常温以下で分解し、野菜・果物等の鮮度保持・廃棄物低減に活用されています。

食品製造に欠かせない「殺菌」工程時のプレートへの焦げ付きは食品とエネルギーロスを招きます。太陽化学グループは界面制御技術でこの課題を解決し、環境への配慮を実現します。

▼TMPS-Ptのイメージ図



CSRマネジメント

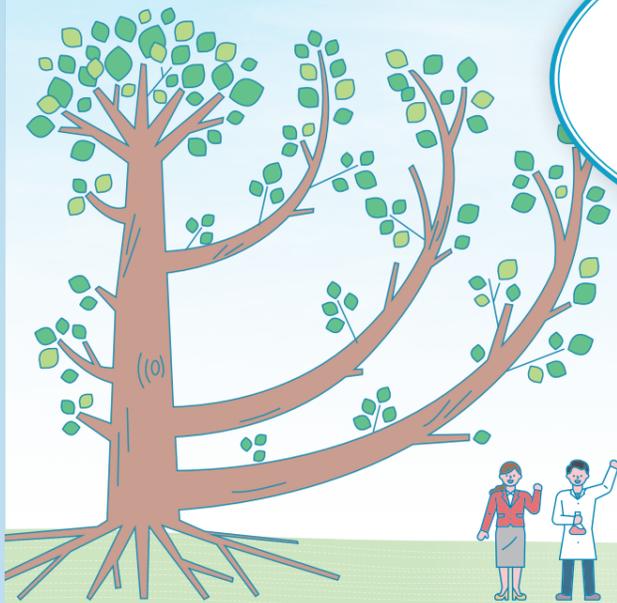
太陽化学グループは、社会から信頼され、必要とされる企業を目指します。
一人ひとりの社員が基本理念である「好奇心 そして行動」の精神のもと、
社業に取り組み「進化」し続けることが、太陽化学グループの社会的な責任であると考えます。

経営理念

私たちは、世界の人々の健康と
豊かな生活文化に貢献します。

行動規範

行動規範は、太陽化学基本理念「好奇心 そして行動
Imagine, Desire and Create」に基づき、企業と
しての社会的役割と責任を自覚し、従業員としての
適切な行動をするための拠りどころとなるものです。



CSR基本方針



Social 社会

従業員、株主・投資家の皆様、お客様、お取引先
様等すべてのステークホルダーとのコミュニ
ケーションを大切に満足度向上に努めます。

▶P17~20

【ISO26000中核課題】
人権・労働慣行／公正な事業慣行／消費者課題

■ 貢献するSDGs



Social 社会

法令遵守のみならず事業活動にて生じる社会
への影響に対処し、広く社会からの期待、要望
に応えることにより、社会貢献に努めます。

▶P21

【ISO26000中核課題】
コミュニティ参画・開発

■ 貢献するSDGs



Environment 環境

人と地球にやさしい企業として地球環境の
負荷低減に積極的に取り組みます。

▶P15・16

【ISO26000中核課題】 環境

■ 貢献するSDGs



Governance ガバナンス

法令遵守の徹底や不祥事の未然防止を図
るため、リスクマネジメントやコンプライア
ンスの更なる強化徹底に取り組みます。

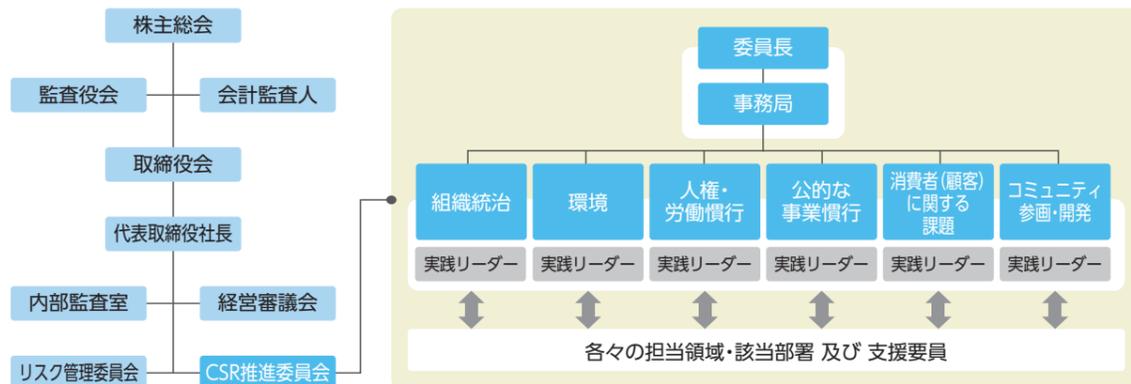
▶P22・23

【ISO26000中核課題】 組織統治



CSR推進体制

当社では、ISO26000の中核課題に準じて、推進責任者を配置し、目標達成に向けた施策と検証を行っております。
各推進責任者はそれぞれの課題とテーマを設定し、年間を通じてマネジメントを行い、CSR基本方針の遂行に寄与して
います。



当社は、2019年9月より国連グローバルコンパクトに加入しています。





地球のために

私たちは、人と地球にやさしい企業として、事業活動における環境への影響を考慮し、地球環境の負荷低減に積極的に取り組んでまいります。

環境方針

当社は、食品素材メーカーとして自然の恵みに感謝し、人と地球にやさしい企業として、地球環境の負荷低減に積極的に取り組み、皆様に信頼される企業を目指します。

1. 環境関連の法規制を遵守する。
2. 省資源、省エネルギー対策を行う。
電気/燃料(LNG、都市ガス、LPG、重油、ガソリン、軽油)/工業ガス/水/紙
3. 廃棄物の削減・3Rを推進する。
4. 排水の維持管理を強化する。
5. グリーン調達に配慮する。
6. 環境目標を設定し、全従業員で取り組み実現を図る活動を推進する。
7. 漏洩対策を徹底する。

環境への継続的な取り組み

太陽化学は事業活動のあらゆる面において、環境負荷の低減に努めています。環境管理委員会を設置し、環境マネジメントシステムの全社的な運用を行うことにより、環境法令の遵守、CO₂排出量削減、廃棄物の発生抑制及びリサイクル化など、全社的な環境活動を積極的に進めています。この取り組みが評価され、2009年には食品産業優良企業等表彰環境部門において農林水産大臣賞を受賞しました。

環境目標と結果評価

国内工場を保有する南部・塩浜の2事業所では、地球温暖化対策を「事業活動を行うにあたっての重要な課題の一つ」としてとらえており、継続的に温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。

温室効果ガスの排出量削減目標については、生産量を分母とする排出原単位を用いており、基準年に対して生産量原単位年1%削減することを目標として、地球温暖化対策に取り組んでいます。また、CO₂排出量については、高効率設備の導入や燃料転換により約20%のCO₂削減を実現しております。

南部・塩浜事業所 CO₂総排出量 (ton)



環境教育

環境管理委員会にはエネルギー部会、排水部会、廃棄物部会を設置し、社員への教育と環境負荷低減への実効的取り組みを行っています。

各部会では社員の意識向上を目的として定期的な勉強会を実施し、省エネルギー化や環境負荷低減への意識向上を図っています。



環境管理

■ 廃棄物管理

日々の改善活動を通じて、廃棄物の発生抑制に努めています。サーマルリサイクル(熱エネルギーとしての利用)やマテリアルリサイクル(飼料・肥料としての活用)など、再生利用促進を行い、最終処分量(焼却、埋め立て)の削減に努めています。

特に廃プラスチック関係では、減容化などの処理の取り組みや原料容器のリユース促進などを行い、全体として廃棄物のリサイクル率97%を達成しております。

南部・塩浜事業所 廃棄物のリサイクル率 (%)



■ 大気汚染防止

南部事業所では燃焼設備からの排気ガスについて、四日市市と協定を締結し、法規制よりもさらに厳しい基準を設定し、管理を徹底しています。燃料にはLNG(液化天然ガス)を採用し、硫黄酸化物(SO_x)を低減しています。蒸気ボイラー設備においては低NO_xバーナーを採用し、窒素酸化物の排出抑制に努めています。

南部事業所 総量規制グラフ SO_x(Nm³/h)



■ 水質汚濁防止を目的とした排水の水質管理

南部事業所では、処理後の排水を河川へ放流しています。河川放流は、下水道放流より環境への影響が大きく、排出基準値が厳しく設定されています。南部事業所は四日市市と協定を締結し、法規制より厳しい基準を設定し管理しています。

排水処理設備では、放流水及び処理工程に応じた監視測定を行い、異常を早期発見できる体制を整えています。

※塩浜事業所については、公共下水への放流となっております。

南部事業所 排水出口 水質データ(抜粋)

項目	協定値	最大値実績
COD	45.0kg/日以下	34.2kg/日
T-N	16.0kg/日以下	9.4kg/日
T-P	1.60kg/日以下	0.58kg/日

2020年度も継続して基準値を超える数値は検出されていません。

■ 化学物質の管理

PRTR法(化学物質管理促進法)における対象物質の取扱量算定を適切に行っております。報告対象となる第一種指定化学物質は右記の通りとなります。

第一種指定化学物質	排出量	移動量
政令番号 第438号 メチルナフタレン	7.6kg	なし
政令番号 第071号 塩化第二鉄	なし	なし

■ エネルギー管理の強化

2016年度より、国内工場を保有する南部・塩浜の2事業所ではエネルギー使用量を見える化して一元管理を行っています。十数個の各プラントでの使用エネルギー量を把握することで、より効果的に使用量管理を行い、削減意識を高めています。

エネルギー使用量が多くなる夏期には節電対策会議を開催し、ピーク時の電力使用量削減に努めています。食品製造においては衛生対策が強化され空調負荷が増加する中、高効率空調システムの導入などにより原単位改善に取り組んでいます。



お取引先様とともに/お客様とともに

私たちはお取引先様を大切なパートナーと考え、適切な取引を徹底し公正・公平な関係性を保ってまいります。また、お客様とのコミュニケーションを大切に、市場のニーズに合った優れた製品開発、良質なサービス、及び情報を提供することで、皆様との良好な関係を実現してまいります。



サプライチェーン

調達方針

1. 品質本位：私たちは、安全な品質を第一に考えた調達を行います。
2. サプライヤー：私たちは、お取引先様を大切なパートナーと考えます。
3. 環境への配慮：私たちは、人と地球にやさしい企業として、地球環境の負荷低減を重視した調達に積極的に取り組みます。
4. 法令遵守：私たちは、法令を遵守し、信頼される企業を目指した調達を行います。
5. 社会貢献：私たちは、透明で信頼ある調達活動を通じて更なる社会貢献を行います。

CSR調達ガイドライン策定とサプライヤーへの通達

当社では社会の持続可能な成長に貢献することを目的に、CSRへの取り組みを、お取引先様と協力してサプライチェーン全体に拡げる「CSR調達」を推進。この取り組みを通じて当社とお取引先様双方の企業価値を向上させることも目指しています。この度、CSR調達にかかるガイドラインを制定し、サプライヤーと共有いたしました。

原材料調達について

当社では世界食品安全イニシアチブ(GFSI)が認定するHACCPを主軸とした食品安全管理プログラムSQFの要求事項に従い、ガイドラインを定めて原材料調達を行っております。

持続可能なパーム油の調達

当社は2017年より「持続可能なパーム油のための円卓会議(RSPO)」に正会員として加盟し、2018年に塩浜事業所、2020年に南部事業所でサプライチェーン認証を取得しており、これまでも化粧品事業向けの界面活性剤を中心に、持続可能なパーム油の調達活動に取り組んでおります。

2028年までを目標に、同事業向けにおけるお客様からのすべてのご要望に対応できるよう、今後も積極的に持続可能なパーム油の調達に切り替えていくことを推進していきます。

品質保証

品質方針

1. 私たちは、食品関連法規を遵守し、安全・安心な製品をお客様へ提供します。
2. 私たちは、製品の安全性を確保するため、品質システムを確立し、維持します。
3. 私たちは、HACCP(ハサップ)を品質システムの基盤とします。
4. 私たちは、製品の安全性に問題が生じたときの報告義務を徹底します。
5. 私たちは、品質システムを毎年見直し、改善します。

上記の品質方針のもと、品質マネジメント活動を実行し、その活動を通してリスクを抽出してその抑止を行い、あるべき姿にすることにより安全・安心な製品づくりを進めてまいります。

また、世界的な食品安全管理標準規格であるGFSI認証スキームによる品質マネジメント認証の拡大を実行してまいります。(国内工場:SQF、海外工場:FSSC22000)



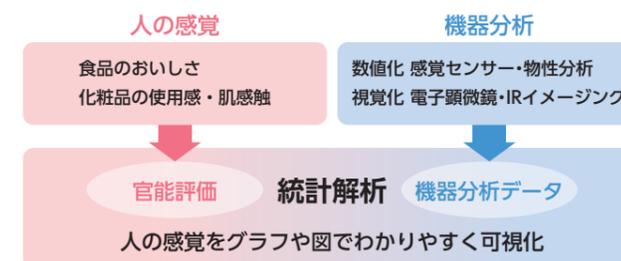
顧客満足・カスタマーサービス

おいしさ科学館の活動

おいしさ科学館は、東京本社(港区浜松町)内に併設された食品及び化粧品の製造・販売会社の方や外食産業、理美容業界の方など「食」「化粧品」を提供する方々のためのスペースです。

人によって好みは異なり、近年様々な嗜好に合わせて商品も細分化されています。それらが「どのように違うのか」をお客様と一緒に考えるスペースがおいしさ科学館です。

おいしさ科学館では、様々な統計解析を用いて「人の感覚」と「機器分析データ」を融合しています。機器分析と人の感覚を合わせて解析することで、各商品の特徴を表したプロダクトマップを示すことができます。そこから「食品のおいしさ」「化粧品の使用感」などについて、これまでより一層深い次元でお客様と意見交換を行っています。



お客様と一緒に、おいしさの「なぜ」をディスカッションするためのプレゼンルームです。



各種機器をそろえた分析スペース。おいしさをいろいろな角度から科学的に分析・評価します。

コーシャ、ハラールへの対応

当社では、海外のお客様からのご要望にお応えできるように、一部の製品においてコーシャ、ハラールの認証品の製造、販売を行っております。



WEBを介したコミュニケーションの活性化に 東京、四日市にWEBスタジオを開設しました。



研究所WEBスタジオ(四日市)

SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)の世界的な感染拡大で、対面での面談が大きく制約を受ける中でもお取引様、お客様への情報発信、コミュニケーションを活性化するために、東京と四日市にWEBスタジオを開設しました。



東京WEBスタジオ



従業員とともに

私たちは、互いの人格と個性を尊重し、多様な人材がワークライフバランスを保って働くことのできる、健康的で意欲あふれる職場づくりを推進してまいります。

太陽化学 人権方針

1. 人権の尊重：私たちは、事業活動に関わる一人ひとりの人権を尊重します。
2. 差別の禁止：私たちは、事業活動において、人種、国籍、出身地、宗教・信仰、性別、性的指向、性自認、社会的身分、障がい等による差別を行いません。
3. ハラスメントの防止：私たちは、あらゆるハラスメントを行いません。
4. 強制労働・児童労働の禁止：私たちは、強制労働、児童労働は行いません。
5. ダイバーシティの推進：私たちは、多様な人材の個性を尊重し、一人ひとりの強みを最大限活かすことのできる企業を目指します。
6. 人権啓発の実施：私たちは、従業員が人権尊重に関する正しい理解と知識を深めるため、継続的に教育を実施します。
7. 関係する皆様と共に：私たちは、お取引先に対して本方針を理解し、人権を尊重し侵害しないよう求めます。

ワークライフバランス(働き方改革の推進)

当社は、従業員が安心して働き続けられる環境づくりを推進しています。

育児休業
取得率
100%

育児に関する制度、取り組み	
プレママミーティング	妊娠～産休に入るまでの間、人事女性担当者と本人とその上司で面談を実施する取り組み。産休までの働き方、復帰後の働き方を上司とも共有しながらサポートしていきます。
育児休業制度	出産～育児に伴い最長2歳(諸条件あり)まで取得できる制度
育児短時間勤務制度	産休復帰後より小学校2年生の始業式までの間、所定労働時間を6時間へ変更することができる制度
育児のための時差出勤制度	育児のために所定労働時間を前後1時間変更し勤務できる制度
子の看護休暇	小学校2年生の始業式までの子を養育する従業員は、病気や予防接種、健康診断の際に、取得できる休暇制度(無給・上限あり)

介護に関する制度	
介護休業制度	対象家族1人につき、原則として通算100日間の範囲で介護休暇が取得できる制度
介護休暇制度	要介護状態にある家族の介護その他の世話をする従業員(日々雇用する者は除く)当該家族が1人の場合は1年間につき6日、2人以上の場合は1年間につき12日を限度に取得できる休暇制度(無給)
介護短時間勤務制度	介護のために所定労働時間を6時間へ変更することができる制度
介護のための時差出勤制度	介護のために所定労働時間を前後1時間変更し勤務できる制度

ワークライフバランスにおける取り組み	
在宅勤務制度の導入	従業員(2019年4月より導入開始)

ダイバーシティと機会均等

人事異動にあたっては、現在の仕事状況や今後のキャリア希望などを自己申告させ、社員の職域拡大の要望を反映させる仕組みを取り入れています。

現在従事する業務に関する内容はもちろん、新たな職域へ挑戦できる環境を整えています。

また、子育て中の社員が仕事と家庭の両立を図ることができるよう、子が小学校2年の始業式に達するまで育児短時間勤務制度を利用できるようにしました。

作業工程や手順を明確化することで仕事内容の共有化を図り、休暇や勤務時間短縮の制度を利用しやすくするなど、女性が働き続けられる環境づくりを行っています。

人財育成

特定分野の専門性を追求する「専門家」も必要ですが、当社においては、幅広い経験を通して視野を広げることが目的に定期的なジョブローテーションを実施し、「専門家」よりも複数分野における専門性を身につけた「プロフェッショナル」になることを社員に期待しています。

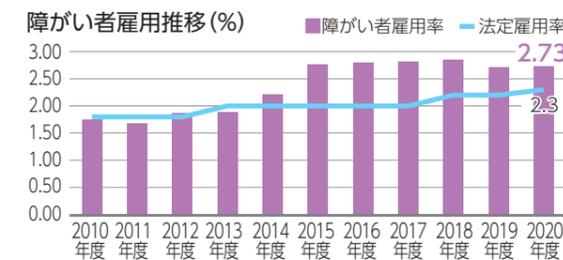
また、企業内研修では外部の講師だけでなく、社員自身が社内講師となり、社員を指導する企業内研修を活発に行っています。社員が考え、実践することで、その社員自身の成長を図ります。



障がい者雇用

当社は障がいのある方を雇用し、継続して働き続けていただくことで、安定し自立した生活ができるよう支援しています。

当社行動規範では、地域社会との協調に努め、信頼される企業を目指すこと、お互いの人格と個性を尊重し、思いやりと信頼を元に行動することを定めています。



Voice

育児と仕事の両立をサポートする社風



山本 亜衣さん
社歴: 8年目
部署: アグリフード事業部 研究開発G
職種: 研究開発職
役職: 社員

私は現在、小学校2年生の始業式まで活用することができる育児短時間勤務制度を利用して働いています。限られた時間の中で、業務を行わなければならないため、いかに効率的に仕事をこなしていくか、日々工夫をして取り組んでいます。育児と仕事の両立に苦労もありますが、当社は制度とともに、皆が助け合いサポートする社風があり助けられています。今後も仕事と育児を両立し、キャリアアップしていきたいと思っています。

いきいき働く職場ジョブローテーション



榎山 真一郎さん
社歴: 18年目
部署: インターフェイスソリューション事業部 研究開発G
職種: 研究開発職
役職: チームリーダー

当社は、様々な部署を経験するジョブローテーションを通して人財育成を行っています。私も、入社以来化粧品分野の研究開発、営業(東京)、飲料分野の研究開発を経験しました。振り返ると違う分野を経験することで、お客様の視点や営業の視点など様々な考え方が出来るようになったと感じています。新しい環境では苦労や失敗もありますが、その経験が成長にもつながるのだと思います。私もこれまでの経験を活かして今後もキャリアを重ねていきたいと考えています。

在宅勤務制度と育児休業制度を合わせて活用



山川 博さん
社歴: 11年目
部署: アグリフード事業部 統括G
職種: 事業部統括職
役職: 副主任

現在、単身赴任で仕事をしているため、子どもが産まれたことを機に子育てに参加したいと思い、育児休業を取りました。コロナの影響で、働き方が大きく変わったので、在宅勤務制度と組み合わせ活用をしました。子どもをお風呂に入れたり、おむつをかえたり、今しかできないことができ、制度を利用して良かったです。今後も積極的に育児に参加していきたいと思っていますし、自分の部下ができた際にも勧めたいと思います。

グループリーダーとして環境づくりに注力



三ツ矢 智美さん
社歴: 26年目
部署: メディケア事業部 メディケアG
職種: 営業職
役職: グループリーダー

私は、研究職や営業職を経験し、現在はメディケア事業という部署でグループリーダーを勤めています。我々の部署は女性従業員の比率も高く、互いに切磋琢磨しながら業務をしています。常にメンバーに方針や目的を伝えることを意識し、同じ目標に向かい仕事ができるよう心がけています。当社には、男女関係なく仕事に対して真摯に向き合っている人を認める風土があると感じています。今後は、皆さんがいきいきと仕事に取り組めるような環境づくりに力を入れていきたいと考えています。

注) 社歴・部署・職種・役職は、インタビュー当時(2021年3月)のものです。



地域社会とともに

私たちは、地域社会との共生に努め、地域活動を通じて社会への支援や産学育成に取り組み、信頼される企業を目指してまいります。

地域活動

■ TAIYO KAGAKU INDIA Pvt. Ltd. 地元病院に医療機器を寄贈

当社の子会社TAIYO KAGAKU INDIA(インド)では、毎年の地域のCSRに貢献できるようにインフラ拡充などに寄付しています。

今回、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化しているオランダバード市の病院に対して人工呼吸器1台と液体酸素発生装置1台を寄贈しました。



■ 神明プラザでの活動

東京本社(港区浜松町)に隣接する港区立神明いきいきプラザは「集い、学び、育くむ」をキーワードに、60歳以上の方を中心に、趣味、レクリエーション、学習活動の場、介護予防や健康づくりの活動の場、区民の交流や地域活動の場となっています。

本年度は、神明いきいきプラザと当社とのコラボ企画「ぐっすり眠る～睡眠のコツ」を開催しました。

新型コロナウイルス対策を行った会場にはおおむね50歳以上の区民が参加、冬場に抱えやすい悩みの一つである「睡眠」に特化した講話を行い、呼吸法や睡眠について正しい知識を紹介しました。



■ 管轄消防署との合同防災訓練

南部事業所において管轄の四日市市南消防署南部分署との合同防災訓練が行われました。

他に四日市市消防本部には大規模災害時における緊急消防援助隊等の応援部隊の進出拠点及び宿営場所として当社の体育館・トイレ及びブランドの使用を承諾しています。



■ 社員食堂の食材は、地産地消

四日市地区事業所の社員食堂で使用する米・野菜は、近隣の農家の方々などから納入いただいています。

また、週に一度 その日に収穫した野菜を移動販売車で販売しています。化成肥料、農薬、除草剤を使用しておらず社員に大変人気があります。



コーポレート・ガバナンス

私たちは、信頼される企業であり続けるため、健全で強固なコーポレート・ガバナンス体制の構築に向けて継続的に取り組んでまいります。

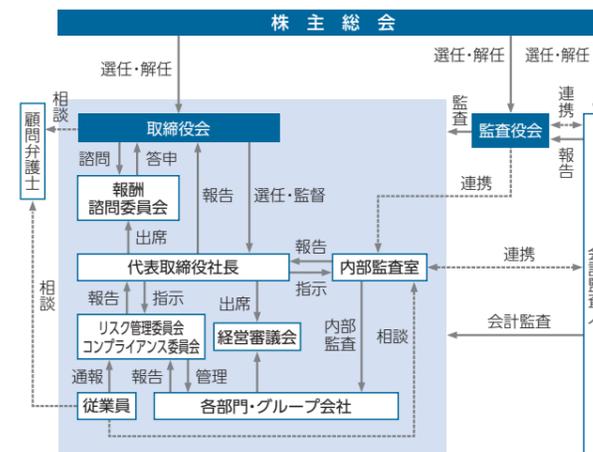
基本的な考え方

当社グループは、社会的な責任を果たし、かつ持続的な成長、発展を遂げていくことが重要であるとの認識に立ち、経営の透明性・健全性の向上とコンプライアンスの徹底に取り組み、コーポレート・ガバナンスの強化に努めております。

コーポレート・ガバナンス体制

企業が健全で永続的な成長を続けるためには、経営陣の素早い意思決定と、それを実行に移す体制が重要です。

当社は、社外取締役の増員、取締役会全体の実効性評価・分析、会計監査人候補の評価など仕組みづくりを行ってきました。取締役会で経営の迅速な意思決定を行い、監査役会にて取締役の業務執行に関する監査を行うことで企業の透明性を高めています。



■ 取締役会

社外取締役2名を含む8名で構成されており、経営上の重要な意思決定を速やかに執行するとともに、各取締役の業務執行状況の監督機関として、原則として毎月1回開催しております。

■ 経営審議会

代表取締役、常勤監査役で構成されており、経営の意思決定の仕組みを明確にし、経営の透明性をより高めることを目的として経営戦略、中長期計画等を審議・決定する機関として随時開催しております。

■ 監査役会

社外監査役2名を含め3名で構成されており、取締役の業務執行の適法性、妥当性の観点から監査を行うことを目的として原則として毎月1回開催しております。

組織形態		監査役会設置会社
取締役	人数	8名(うち社外2名)
	任期	1年
監査役	人数	3名(うち社外2名)
	任期	4年
独立役員		社外取締役1名、社外監査役1名
取締役へのインセンティブ付与に関する実施の状況		業績連動報酬制度の導入、その他

内部監査体制

金融商品取引法に基づく財務報告の適正性に関する内部統制報告制度(J-SOX)への対応については、法令成立に先立ち2005年10月より内部監査室が内部統制システムの構築を推進し、当社グループ内外における同システムの確実な運用体制を整備しています。

当社は、会社法及び会社法施行規則に定める「取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制、その他会社の業務の適正を確保するための体制」について取締役会において決議し、当該決議に基づく着実な運用を行い、体制の構築に努めています。

■ 内部監査室

代表取締役社長直轄の独立した組織として内部監査室を2名体制で設置しております。2名は監査役スタッフを兼任しており、内部監査計画に基づき適法性、妥当性、効率性の観点から内部監査を実施しております。

取締役会の実効性評価

当社は、取締役会の実効性向上のため、毎年取締役及び監査役全員を対象として、①議論・検討の実効性、②監督機能の実効性、③リーダーシップの実効性、④環境整備状況の実効性、⑤株主・ステークホルダーへの対応の実効性、⑥取締役会の構成等に関する実効性に関するアンケートを実施し、その結果を評価・分析した上で、取締役会において、取締役会の機能向上に向けた審議を行っています。



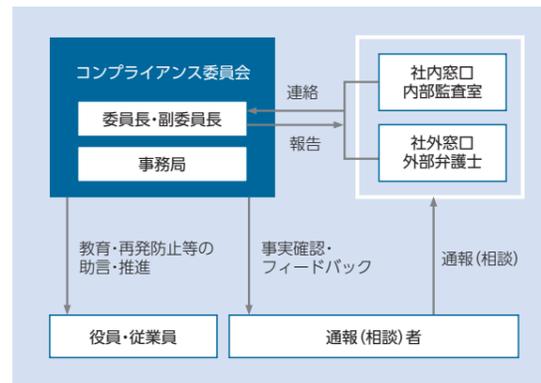
コンプライアンス

コンプライアンス基本方針

1. 私たちは、事業活動のあらゆる場面においてコンプライアンスを最優先します。
2. 私たちは、法令はもとより、社内ルール・企業倫理を遵守するとともに事業活動の適正さに疑いを招くような行動は厳に慎みます。
3. 私たちは、取引先を大切なパートナーと考え、相互発展の実現に向け公正かつ透明な取引に努めます。
4. 私たちは、人と地球にやさしい企業として、地球環境への負荷低減に積極的に取り組みます。
5. 私たちは、会社の資産および情報を適正に管理し、定められた目的以外には利用しません。
6. 私たちは、適時・適切な情報開示を行うことにより、経営の透明性を確保します。

■ コンプライアンス推進体制

全社的なコンプライアンス体制の確立、浸透、定着を目的として、コンプライアンス委員会を設置し、事業活動に係る潜在リスクの把握、コンプライアンス違反への対処、再発防止策の立案、教育等を行うことにより、コンプライアンス推進活動の実効性を高めています。



■ 社内通報制度

法令違反や不正行為等の早期発見・未然防止を目的に全従業員がコンプライアンスに関する相談、及び通報ができるよう相談窓口を設置しています。

また、通報者が相談窓口を安心して利用できるよう、通報による不利益を受けない旨を規定するとともに、匿名での相談も受け付けています。



「太陽化学グループコンプライアンス基本方針・行動規範」は、こちらをご参照ください。

<https://www.taiyokagaku.com/csr/governance/compliance.pdf>

リスクマネジメント

当社グループを取り巻く様々なリスクを特定・把握・評価し、リスクの低減・発生防止を徹底すること、また万一事件・事故などが発生した場合には速やかな解決を図ることが重要であると考えています。

■ リスク管理体制

当社は、経営に重大な影響を与える可能性のある損失を事業リスクと定め、リスク管理及び危機管理規程を策定するとともに、リスク管理委員会にて当社及び子会社の事業リスクの把握・統制・回避の実践状況に関するモニタリングを実施し、その結果を取締役会に報告しています。

■ 情報の保護と管理

当社は、様々な重要情報を適切に扱うため、「情報管理規程」などの社内規程や「情報セキュリティポリシー」を定めています。また、情報システムに関するリスク低減を目的として、IT委員会を設置し毎年情報の棚卸しと管理方法の評価を行っています。

また、すべての情報にセキュリティランクを設定し、機密情報にはアクセス制限を設ける他、IT資産管理ツールを導入し、物理的・技術的な対策を実施しています。

■ 事業継続への取り組み

自然災害や事故、製品・サービスに係るリスク等を想定し「危機管理要綱」を策定して自主保安管理体制の強化に取り組んでいます。

年2回、大地震や火災等の有事を想定し安否確認訓練と避難訓練などを実施しています。

また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い社長を本部長とする新型コロナウイルス対策本部を設置し、「新型コロナウイルス感染拡大の防止に関する行動計画」、「新型コロナウイルス感染の疑いが発生した際の対応マニュアル」を策定するとともに、リスク管理委員会にて当社における感染対策を協議し社内通達を行っています。

また、製造部門に感染者が発生した場合を想定し、消毒手順書の整備、応援要員のリストアップ、応援時シミュレーション等事業継続対策を実施しています。

財務・非財務ハイライト



財務情報(連結)

	単位	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
売上高	百万円	39,487	38,689	40,130	40,364	39,199
営業利益	百万円	3,444	3,802	4,189	4,630	5,077
経常利益	百万円	3,123	3,813	4,129	4,667	4,711
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,944	2,584	2,632	3,167	2,992
純資産額	百万円	35,735	37,784	38,297	40,078	42,338
総資産額	百万円	44,830	48,301	48,813	49,751	52,867
株主資本利益率(ROE)	%	5.8	7.3	7.1	8.3	7.4
設備投資額	百万円	927	2,334	2,465	2,305	3,836
減価償却費	百万円	1,059	1,137	1,136	1,138	1,272
研究開発費	百万円	1,202	1,304	1,309	1,413	1,392
売上高研究開発費比率	%	3.04	3.37	3.26	3.50	3.55
自己資本比率	%	77.2	75.9	76.7	78.8	78.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	5,821	3,983	3,266	4,217	4,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 1,520	△ 2,242	△ 3,654	△ 2,869	△ 4,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 587	△ 968	△ 2,081	△ 1,002	△ 1,506
1株当たり当期純利益	円	105.99	140.88	143.71	174.64	165.42
1株当たり配当金	円	50.00	43.00	44.00	53.00	50.00
配当性向	%	47.2	30.5	30.6	30.3	30.2

非財務情報(社会性指標)

	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
労働災害度数比率 ^{*1}	%	1.65	0.84	2.45	0.00	2.21
従業員数 ^{*2}	名	559	556	541	547	534
海外従業員数 ^{*3}	名	340	339	322	311	305
平均勤続年数	年・月	20年4ヶ月	20年4ヶ月	19年10ヶ月	20年1ヶ月	20年9ヶ月
女性採用比率	%	58.3	33.3	37.5	37.5	33.3
管理職女性比率	%	3.2	3.3	4.4	5.8	5.7
障がい者雇用率	%	2.80	2.81	2.85	2.71	2.73
女性従業員育児休業取得率	%	100	100	100	100	100
有給休暇取得率 ^{*4}	%	61.01	65.98	66.00	67.07	62.93
育児休暇取得者数	名	16	15	11	14	14

^{*1} 労働災害による死傷者数/延べ実労働時間数×1,000,000で算出 ^{*2} 社員・契約社員 ^{*3} 海外子会社の従業員 ^{*4} 有給休暇付与日ベースで計算

商号 太陽化学株式会社
 設立 1948年1月28日(創立/1946年5月)
 資本金 77億3,062万円
 代表者 山崎長宏
 従業員 849名(その他臨時従業員150名)/連結
 売上高 391億99百万円/連結
 本社所在地 四日市本社
 〒512-1111 三重県四日市市山田町800番
 東京本社
 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6番3号
<https://www.taiyokagaku.com/>

国内拠点



塩浜事業所
 研究所
 塩浜工場

四日市本社
 南部工場

東京本社
 おいしさ科学館
 タイヨーラボ・ショップ



海外拠点

ドイツ
 Taiyo GmbH

当社製品のEMEA(欧州、中東、アフリカ)地域での販売拠点として2012年にドイツに設立しました。



中国
 無錫太陽緑宝科技有限公司

緑茶抽出物「サンフェノン」など、植物由来の機能性素材の生産工場。国際的な各種認証を有し、コーシヤ、ハラール認証品も世界市場へ提供しています。



中国
 開封太陽金明食品有限公司

マイクロ波加工技術を利用し、急速に発展する中国、アジア圏の即席食品市場に向け提供しています。



中国
 香奈維斯(天津)食品有限公司

中国天津市にベーカリー製品の製造、販売を目的として2012年に設立しました。



中国
 上海太陽食研国際貿易有限公司

アジアを海外戦略の重要地域と位置付け、食品加工原料並びに機能性素材の販売子会社として、2006年1月に設立しました。



韓国
 TAIYO INTER KOREA Co., Ltd

韓国市場への販売拠点として、2001年に設立。韓国の食品・化粧品市場へ、さらに積極的に販売活動を展開しています。



台湾
 Taiyo Taiwan

台湾への商品紹介のため、営業拠点を構えています。

ベトナム
 Taiyo Vietnam

ベトナムへの商品紹介のため、営業拠点を構えています。

タイ
 Taiyo Bangkok

タイへの商品紹介のため、営業拠点を構えています。

インド
 TAIYO KAGAKU INDIA Pvt. Ltd.

水溶性食物繊維「サンファイバー」の生産工場。また、東南アジア市場に向けたハラール認証を有する食感改質剤の製品提供をしています。



海外拠点の詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.taiyokagaku.com/corporate/global/>

アメリカ
 Taiyo International, Inc.

当社製品の米国市場での販売・製造の拠点として、1994年に設立した100%出資子会社。当社製品の米国市場への更なる浸透を目指して、販売活動を展開しています。



● 販売拠点
 ● 製造拠点
 ● 販売代理店

販売拠点
 アメリカ、タイ、中国、台湾、韓国、ベトナム、ヨーロッパ

販売代理店
 アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラン、インド、インドネシア、ウルグアイ、エクアドル、オランダ、オーストリア、オーストラリア、カナダ、ギリシャ、コロンビア、シンガポール、スイス、スペイン、チェコ、チリ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、ブルガリア、ペルー、ベルギー、ポーランド、マレーシア、南アフリカ